

令和4年度第2次補正
探究的学習関連サービス等利活用促進事業費補助金

探究的な学び支援 補助金2023

効果報告レポート

【事業者名】

一般社団法人国際エデュテイメント協会

【サービス名称】

SDGs探究教材「クリティカル」

【サービスの機能分類】

区分A-1 メインサービス

2024年1月

クリティカル

SDGs 探究教材



■探究学習等サービスの概要

SDGs探究教材「クリティカル」とは？

クリティカル

SDGs探究教材

SDGsの17ゴールを理解しながら、国内外の事例をもとに批判的思考力を養い、
自己の興味関心を探究することができるオンライン探究プログラムです。



複数視点から社会課題を見ることで“当たり前を疑う力”を身につけ、“ジブンゴト化”する

「クリティカル」ならではの3つの特徴

SDGsに特化した
圧倒的な情報量

17ゴール全てに4レッスンずつ
搭載。全68レッスンから学習できる。
(約200時間相当分)

「国内」「国外」
「当事者」の
複数視点で思考

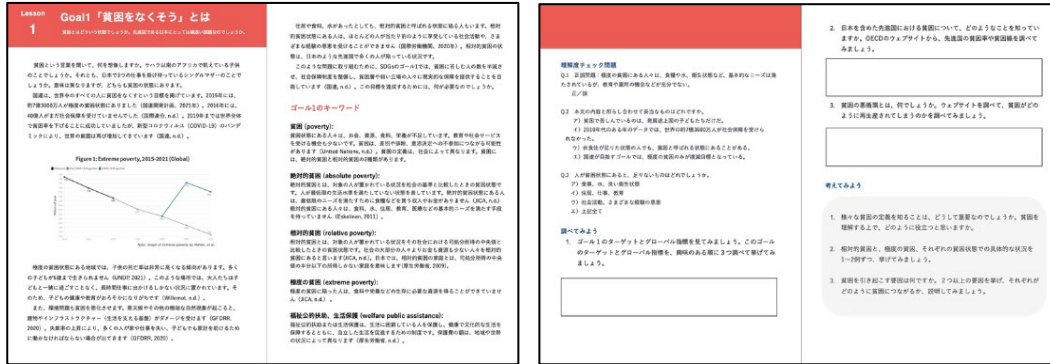
1ゴールにつき「ゴールの概要」
「世界の現状」「日本の現状」「インタビュー」
の複数視点から社会課題の本質に迫ることができる。

“答えのない問い”
でとことん探究

各レッスンごとに、“答えのない問い”が
3問ずつ収録され、深い思考、深い学びができる。



1レッスン内の収録エクササイズ (1ゴールに4レッスン搭載)



「記事閲覧」 「理解度チェック問題」 「調べ学習」 「答えのない問い」

代表的な2つの活用方法

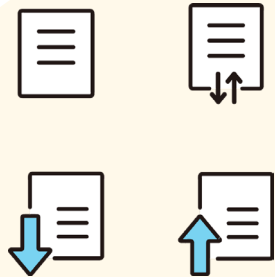
1. テーマ設定型 SDGs探究

学習するSDGsゴールを設定し、探究活動を進めていくパターン

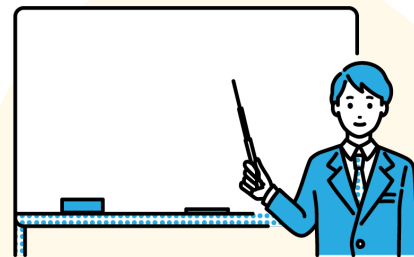
2. 個人研究型 自己探究

個々人の興味関心に合わせてSDGsゴールを設定し、自己探究するパターン

サポート内容



指導案やルーブリック等の
補助資料の提供



教員/生徒向け
探究の効果的な進め方研修

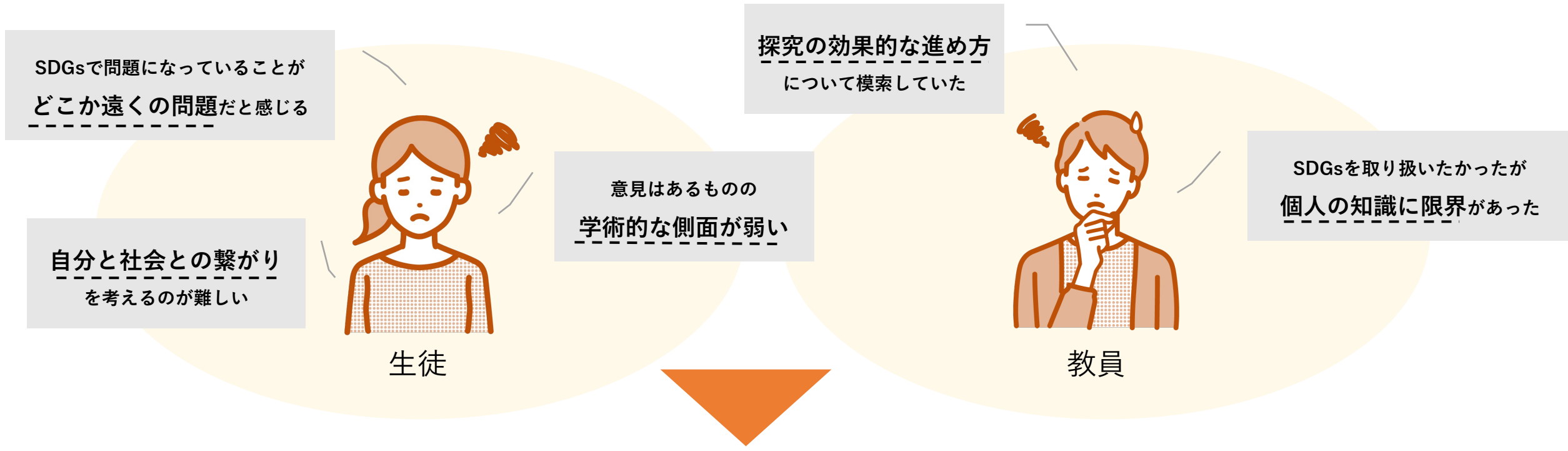


社会人による
リアルなフィードバック



定期的な教材の
使用感についての打ち合わせ

導入先学校等教育機関の児童・生徒・教職員が抱える課題



SDGs探究教材「クリティカル」が果たす役割

- 「SDGsをジブンゴトに」
- 「深い思考をする」
- 「探究を効果的に進める素地を作る」

■ 探究的な学び支援補助金における活用場面

基本情報

学校名 : 追手門学院大手前高等学校
 対象学年 : 高校1年生
 活用場面 : 授業
 活用方法 : 個人研究型自己探究



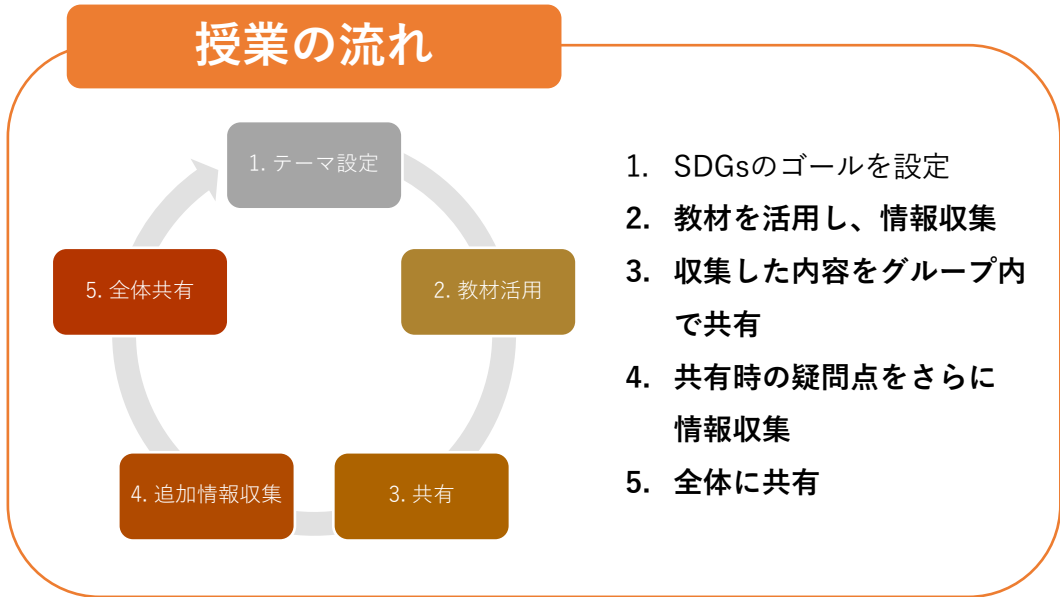
個人でオンライン教材による
情報をインプット



調べたこと・考えたことを
グループで共有

導入背景・課題

高校1年次に生徒個別に探究テーマを設定し、
 2年次に深く研究をする予定をしていた。まずは1年
 次に個別の探究テーマ選択し、社会性、学術的な側
 面から考える題材が必要となるため導入に至った。



1. SDGsのゴールを設定
2. 教材を活用し、情報収集
3. 収集した内容をグループ内で共有
4. 共有時の疑問点をさらに情報収集
5. 全体に共有

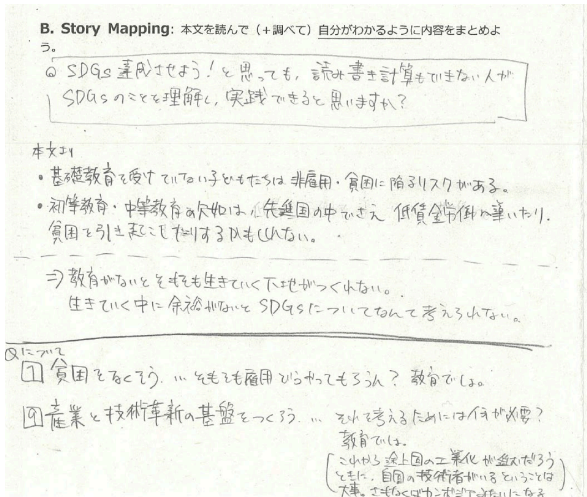
■ 探究的な学び支援補助金における活用場面

基本情報

学校名 : 大阪教育大学附属高等学校 天王寺校舎
 対象学年 : 高校1年生
 活用場面 : 授業
 活用方法 : 個人研究型自己探究



「調べてみよう」についてのディスカッション風景



Story Mappingに関するワークシートと実際の内容

導入背景・課題

生徒がSDGsに対して、どこか遠くの問題だと思っているように感じていた。また、議論が得意な生徒たちに、批判的思考ができるようになってほしいという思いがあった。



学校等設置者数

6

法人名	利用生徒数	利用教職員数
学校法人市邨学園 名古屋経済大学市邨高等学校	69	5
学校法人早稲田大阪学園 早稲田摂陵高等学校	76	1
国立大学法人大阪教育大学 大阪教育大学附属高等学校 天王寺校舎	56	1
学校法人大阪夕陽丘学園 大阪夕陽丘学園高等学校	509	5
学校法人追手門学院 追手門学院大手前中学校・高等学校 (※)	391	4
学校法人東明館学園 東明館高等学校	40	1

学校等教育機関数 合計 7

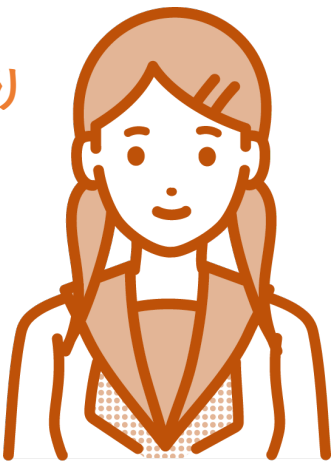
※は、中学と高校の2校での実施



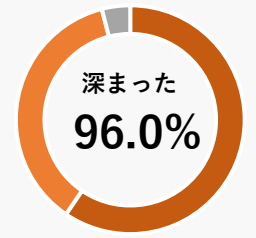
生徒の意識変容

■ 大変そう思う ■ そう思う ■ あまりそう思わない ■ 思わない

Mindset

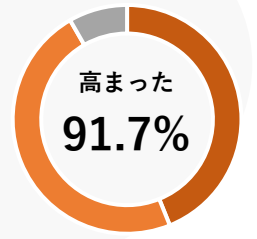


Q. 教材利用前に比べてSDGsへの理解は深まりましたか？



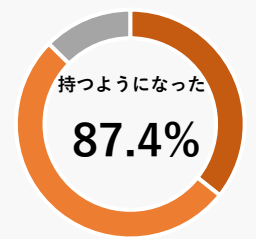
SDGsへの理解の深まり

Q. 教材利用を通して、あなたのSDGsへの意識はどのように変化しましたか？



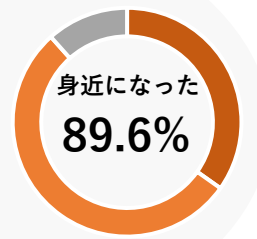
SDGsへの意識の高まり

Q. 教材を利用する前より社会問題に興味を持つようになった。



社会問題への関心の変化

Q. 教材を利用する前より社会問題が身近に感じられるようになった。



社会問題が身近に感じられるかの度合い

回答者数：414

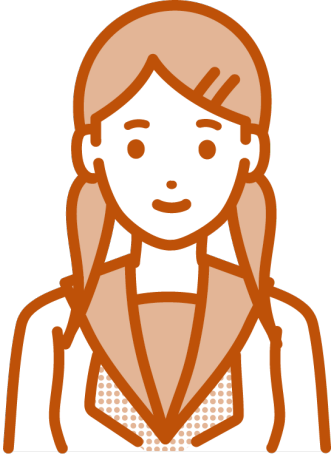
有効回答数：414

採択学校の生徒にとったアンケート結果より

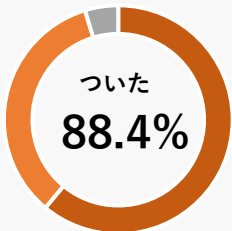
生徒のスキル変化

■ 大変そう思う ■ そう思う ■ あまりそう思わない ■ 思わない

Skill

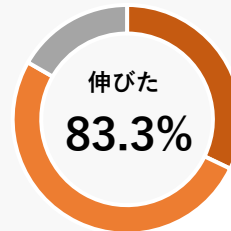


Q. 以前に比べて、物事をいろんな角度から考えて、自分の当たり前を疑う力がついたと思う。



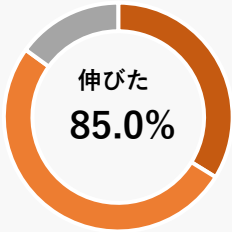
批判的思考力

Q. 自分の意見を筋道立て説明する力が伸びたと思う。



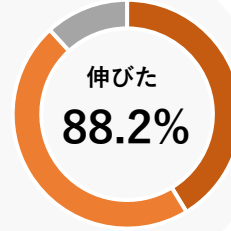
論理的思考力

Q. 自分の考えや意見を表現する力が伸びたと思う。



表現力

Q. グループワークやペアワークの時に他の人の意見を聞く力が伸びたと思う。



傾聴力

回答者数：414

有効回答数：414

採択学校の生徒にとってアンケート結果より

探究学習等サービス活用による成果 (生徒の定性的な行動変容)

Behavior



環境問題や気候変動の番組に
目が行くようになった。

外国人観光客に偏見を持たなくなった。

実際にLGBTの該当者の方とお話したり、様々な
視点からジェンダーについて考えるようになった。

使えるものは使えなくなるまで大事に
使う意識を持つようになった。

企業の育児に関するハラスメントへの
問題意識を持つようになった。

マイバッグ・マイボトル
を持参するようになった。

いらない服を寄付するようになった。

スーパーにある食品ロス無くそうの
コーナーを購入するようになった。

メニューの成分を
ちゃんと見るようになった。

有効回答数：339 ※採択学校の生徒にとったアンケートより一部コメントを抜粋

教員から見た生徒・授業の変化と教員自身の変化

■ 大変そう思う ■ そう思う ■ あまりそう思わない ■ 思わない

Knowledge



回答者数：8

有効回答数：8

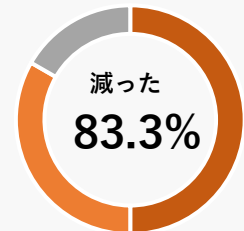
採択学校の生徒にとってアンケート結果より



教員の働き方や教材の扱いやすさ

■ 大変そう思う ■ そう思う ■ あまりそう思わない ■ 思わない

Q. 本教材によって授業に事前準備や資料の用意の時間が減ったと思う。



授業準備時間

Workload



Q. 教材の内容や流れは、授業や生徒の学習にとって扱いやすかった。



教材の扱いやすさ

Q. オンラインシステムの操作は問題なく使えた。



教材の操作性

回答者数：8

有効回答数：8

採択学校の生徒にとってアンケート結果より

直面した課題

個人研究にバラツキ

オンライン教材のコンテンツを利用する際に、生徒のテーマ・取り組みがそれぞれ異なっているため、一斉に何かを進めることが不可能で進行が困難であった。

教材の内容についての課題

テキストの量が多いため、生徒が興味関心を継続させるのは難しい。

専門的なフィードバックの必要性

すでに社会課題意識の高い生徒には、こまめなフィードバックが必要で、メンターのような専門に行う体制があると良い。

改善点

汎用性のあるワークシートを追加

各生徒が異なるテーマでも活用できる汎用性のある探究ワークシートを開発し、進行が容易になるようにする。

動画や導入画像の追加

生徒の興味関心を惹きつけるような動画や画像を追加する。

新しいサポート内容の検討

現状、数回のみフィードバック体制であるため、オフィスアワーのような時間を確保し、探究活動をさらにアシストする仕組みを作る。

■ サービスを活用した児童・生徒・教職員等のコメント感想等



自分の夢とどう繋がってくるのか考えることができた。

友達のプレゼンを聞いたことをきっかけに、
 つくる責任つかう責任についての理解が深まった。

SDGsのうち一つに着目してプレゼンするというもの
 だったので深められたのと、他の人の発表も聞いたの
 で自分が探究したものの以外のものの理解も深まった。

改善するのは一筋縄ではいかない
 ということを知った。

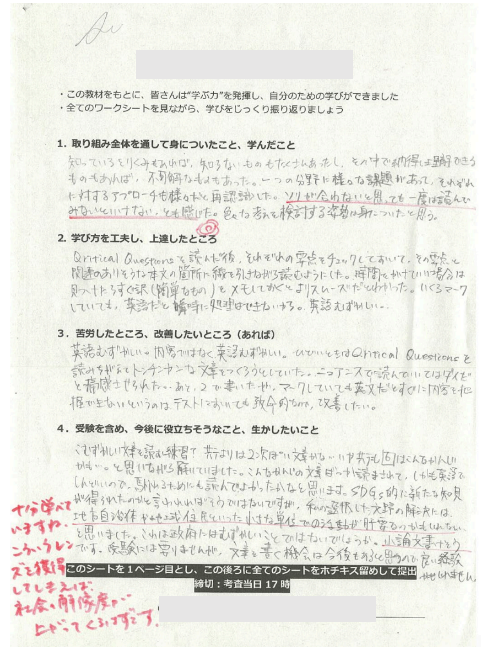
ニュース等で海洋問題について取
 り上げられていたり、汚水などの
 画像が流れてきた時に、SDGsの問
 題が思い浮かぶようになった。

「調べてみよう」だったか、正式名称を忘れたのですが、問いが難しく
 興味深かった。

正直飢餓問題について自分一人ではなんとかできる問題ではないと思うので、
 普段の食事への意識を変えることが大事なのかなと思った。

改善するために何か一つを変えるだけでは解決しないことがわかった。

やっぱり貧困をなくしたいなって思った。



実際の生徒の振り返りシート



日本の事例が紹介されていたことで、Think Globally,
 Act Locallyに繋がりそうだった。

生徒が探究テーマを考える際にSDGsの観点を取り入
 れることで深い問いになることを気づけた。

答えが一つに決まらない「調べてみよう」によって
 生徒の深い思考が促されたと思う。

SDGsのゴール数だけコンテンツがあるので、
 こちらの準備の部分で非常に助かった。

これまで探究学習に前向きではなかった生徒も、教材を通じて考えることで、
 一定レベルまでは自身の興味と社会の繋がりを意識することができるようになった。

※一部コメントを抜粋

法人名 一般社団法人国際エデュテイメント協会

代表理事 森 俊介

所在地 〒101-0065
 東京都千代田区西神田3-8-5 ビル西神田301

設立日 2018年6月1日

HP <https://www.iueo.or.jp/>

売上高 21,493千円 (2023年4月期)

お問い合わせ窓口 メール：info@iueo.or.jp
 電話番号：03-6811-1547

事業概要：

本協会は、「今、これからを生きる力を。」を理念に教育委員会や学校法人を中心に教育事業を展開しています。SDGsを題材にクリティカルシンキング力を養う教材「クリティカル」等の“次世代コンテンツ事業”、GIGAスクール構想で1人1台端末が配備される中、効果的な端末活用を促進するICT研修やコンサルティングを行う“まなびDX事業”、学校の取り組みをブランディングとして醸成していく広報支援の"教育プロデュース事業"の3つの軸で展開しています。

VUCA時代において一人ひとりが豊かに力強く生きていくための教育サポートを行います。